

令和元年度第1回四国中央市男女共同参画審議会会議録

1. 開催日時 令和元年7月29日（月） 19時00分から20時40分
2. 場 所 四国中央市市民交流棟 2階 会議室1
3. 出席者 (委員長) 亀岡マリ子 (副委員長) 窪田幸子
(委員) 加地るり子、宮崎恵、伊藤智子、由良芳雄
村上智子、鈴木秀明
(敬称略)
(事務局) 政策部長 金崎佐和子、地域振興課長 細川哲郎
地域振興課女性政策係 山川玲子 上田智安希
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 審議事項
 - (1) 四国中央市における男女共同参画行政の現状について
 - (2) 平成30年度事業実績について
 - (3) 令和元年度事業計画について
 - (4) 四国中央市男女共同参画関連施策ヒアリングについて
 - (5) その他
 3. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

	<p>●審議事項（１）について事務局より説明</p> <p>説明後、質問や感想が述べられた。</p>
<p>委員長</p>	<p>パンフレット配布の数値目標について、令和6年度までに1,000部配布が目標となっているが平成29年度実績は130部、平成30年度実績は100部と目標数値と比較すると低い。令和6年度に何か大きなイベント等があるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>パンフレットの配布実績については、主に窓口設置したものを持ち帰られた数と、男女共同参画に係る会議等で配布した数である。目標数値1,000部とあるが、平成27年の計画作成当初に立てた数値であり、令和6年度までに徐々に配布数を上げ、目標数値に近づけるように今後啓発活動等により力を入れたい。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童クラブ受入について、現状をお聞きしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>放課後児童クラブの現状について、6月議会では4名の議員から、8月に開催される女性議会においては2団体から質問が出ており、最も関心が高い事業と言える。夏休み期間中においては高校生アルバイトやシルバー人材センターを活用し、問題なく対応できそうであるが、9月からはシルバー人材センターを中心として受入を継続する予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>放課後児童クラブ受入数について、平成29年度実績は931人、平成30年度実績は927人とあるが、令和6年度の数値目標が780人とあるがなぜか。</p>
<p>事務局</p>	<p>数値目標は平成27年の計画当初に設定された数値であるが、少子化等を見込んだ数値であった。その後働き方改革が進んだことで働く女性が増加し、それに伴い放課後児童クラブ利用者も増加した。数値目標は当初の設定のままなので、見直しも必要であると考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>スペースの問題や支援員の問題等、多くの問題があるが、時代の変化等に合わせ、柔軟に対応していただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>平成26年度の利用実績は640人程度であった。その後急激に働く女性が増加し、様々な理由から放課後児童クラブの利用者が増加した。目標数値達成に向けて、事業を進めていくことは望ましいが、状況に合わせて修正が必要である。今後当審議会などで審議してはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>当計画は平成27年から令和6年までの10年間の計画であるが、今年は5年目であり中間の見直し時期であるので、社会情勢などの変化も見ながら、柔軟に対応していきたいと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>マスター組織とはどのような組織であるか。また数値が未記載であるが、どのような状況か。</p>
<p>事務局</p>	<p>担当課より事業実施等の報告がなかったため、確認したところ、未着手であった。マスター組織事業についての詳細は担当課に確認し、後日報告する。</p>
	<p>●審議事項（２）について事務局より説明</p> <p>説明後、質問や感想が述べられた。</p>
<p>委員</p>	<p>ファミリーサポートセンター事業について利用者数が一年間で約500人も増加しているが、何か理由があるのか。</p>

事務局	<p>ファミリーサポートセンター事業とは、育児を援助してほしい人と育児を援助したい人が会員となり、会員同士で子どもの世話を一時的、臨時的に助け合う事業で、四国中央市が四国中央市社会福祉協議会に委託して実施している。利用者数が増加した背景については、働く女性の増加に伴い、子どもの送迎や預かり等、手助けを必要とする人が増加したこと、またファミリーサポート事業が広く浸透してきたことが考えられる。</p>
委員	<p>平成30年度については、特に啓発活動を徹底したと聞いている。このように数値として現れると、地道な啓発活動の成果が感じられ、嬉しく思う。</p>
委員	<p>レンタルオフィス事業についてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>レンタルオフィス事業とは、創業者の育成及び創業者の意欲の向上を目的に、市庁舎の一部の空きスペースを活用し、低廉な入居料金で事務所スペースとして貸し出す事業であったが、川之江庁舎の解体に伴い、現在は事業を中止している状況である。</p>
委員	<p>今後も需要があるのではないかと。市庁舎に空きスペースがないのであれば、商店街の空き店舗などを活用してはどうか。</p>
事務局	<p>産業支援課と調整する。</p>
委員	<p>女性の離職率が低い会社や業種が、女性が働きやすいと感じる職場ではないかと思ひ、業種別等の離職率について大変興味深い。</p>
委員	<p>女性を限定とした離職率については、データは確認したことがない。大きな企業になれば、それだけ離職者も多くなる。近年の求職活動において、求めるニーズも多様化しており、産休等の実績を重視する方、パートも望む方等、働き方は様々である。</p> <p>●審議事項（3）について事務局より説明</p> <p>説明後、質問や感想が述べられた。</p>
委員長	<p>今年度事業の中に、女性議会についての記載がないが、男女共同参画の事業ではないのか。</p>
事務局	<p>女性議会の担当は議会事務局で担当部署は違うが、今後女性議員が増えてほしいという思いからの企画であり、これもひとつの男女共同参画といえる。</p> <p>●審議事項（4）について事務局より説明</p> <p>説明後、質問や感想が述べられた。</p>
委員	<p>児童虐待に関する相談数が多く衝撃を受けた。現状を知りたい。またDV相談、デートDVに関する事業についてもお聞きしたい。</p>
委員	<p>農業の分野でもたくさんの講座を実施しているようなので、お聞きしたい。</p> <p>地方創生推進事業について（企業合同説明会等）お聞きしたい。</p>
委員長	<p>事務局には担当課と協議して、1月の審議会でヒアリングができるように準備を依頼する。</p> <p>●審議事項（5）について事務局より説明</p> <p>説明後、質問や感想が述べられた。</p>

委員	<p>四国中央市が作成している表現ガイドラインは、大変わかりやすいので、もっと活用できればよいと考える。パンフレットの配布、また「ワークライフバランス」という言葉ももっと広められるように、啓発活動にはより力を入れてほしい。</p> <p>●フリーターキング</p> <p>以上で、令和元年度第1回四国中央市男女共同参画審議会を閉会する。</p>
----	--